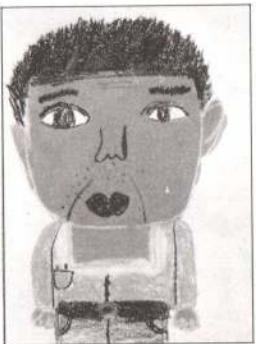




かたおか かすみちゃん
おとうさんはすごくや
さしい。トランプをし
てあそんでくれるよ。



ひかげ わきこちゃん
いつも、おとうさんと
いっしょにおふろへ入る
の、おとうさん大好き。



くどう えみこちゃん
雪ダルマをつくってく
れたり、雪がっせんをし
てあそんでくれるから、
おとうさんが好きなの。

ちびっこギャラリー おとうさん

下川沿保育園

川口の獅子踊りは、昭和十五年か
ら途絶えていましたが、四十七年こ
ろ再興の話が起り、四十九年から
本格的に復活しました。再興当時の
模様を、川口獅子踊り保存会会長の
斎藤常彰さんは次のように話します。
「青年会の地域活動に取り入れよ
うと、獅子踊りの再興を計画しまし
た。幸い長老の一人が笛と踊りを覚
えていたので、仲間十人が一年間毎
晩、そこ農繁期も休まずに特訓
を受けました。最初は町内会館で練
習をしていたのですが、なにせ習い
初めのへタな笛や太鼓ですので、メ
ロディというよりは騒音に

なつてしまい、近所の皆さんに迷惑をかけてしまいました。何とか練習場を変
え、最後に落ちついた場所が、町内のはずれの倉庫でした。仲間の一人が所有している倉庫なんですが、戸もなく裸電球一コしか付いていませんでした。何とか練習場を変えて、一人もやめることなく続けてこれたのは、「なんとも再興するんだ」という気概があつたからで、みんなの熱気は、雪をも溶かすほどでした。

斎藤さんたちは、一年間の練習の成果を町内会に披露。町内会も獅子踊りの保存、伝承に理解を示し、補助金も出してくれるようになりました。



ユニークな

貨車でつくった 下川沿駅

JR東日本(旧国鉄)では、下川沿駅の老朽化に伴い、昨年一月、貨車を利用して新しい駅舎をつくりました。コンパクトに新装された駅舎は、通勤、通学客はもとより、地元の皆さんからも「以前よりも明るくなつたし、ユニクでいいですね」と大変好評です。

川口上の老人クラブ「若葉会」の皆さん、社会奉仕活動の一つとして、下川沿駅の清掃をしています。会長の斎藤三郎さんは「みんなが気持ちよく駅を利用できるように」と、駅の中やホームのゴミ拾い、草むしりなどの作業を年一回行っています。会員の中には一日おきに、朝食前に駅の清掃に出かけている人もいます。また、私たちの他にも、小・中学生が夏休みなどに清掃活動をしています。せっかくの新しい駅ですから、利用される方は、タバコの吸いがらやあきカン、ゴミなどは絶対に捨てないでください」と話していました。



▲「若葉会」の皆さん

伝統の獅子踊りを再興

川口獅子踊りを再興

助金も出してくれるようになりま
たが、悩みは後継者育成でした。

「それで昨年の六月、下川沿中へ
協力をお願いしたところ、先生方の
ご理解を得て、『下川沿中学校獅子踊
りクラブ』を発足させることができ、
昨年の学校祭で獅子踊りが発表され
ました。子供たちに獅子踊りを継
りたいのはもちろんですが、単に郷土芸能の継承・保存というこ
とだけではなく、活動の中から生まれ
る郷土を愛する心、連帯感などを知つ
てもらいたいですね」と、斎藤さん
は話していました。